



**アジア初の開催**

Sport for Life（人生を豊かにするスポーツ）が2021年、関西で開花――。

舞台となる「ワールドマスターズゲームズ」（W M G）は、国際マスターズゲームズ協会（I M G A / 本部スイス）が主催する生

涯スポーツの国際総合競技大会。1985年の第1回トロント大会以来、これまでではすべて欧米とオセアニアで行われてきたが、21年の第10回記念大会は、アジアで初めて関西が開催地となる。W M Gは4年に1度、オリンピックの翌年に開催されるが、大きな違いは、W M Gには年齢以外



**生涯スポーツの祭典**

――関西ワールドマスターズゲームズ2021――

2021年5月、アジア初の「ワールドマスターズゲームズ」が関西で開催される。出場資格は年齢のみ。30歳以上の一般アスリートなら誰でも参加できる、生涯スポーツのビッグイベントだ。世界中のアスリートを関西が迎える――その事業戦略を探る。



**KANSAI**  
WORLD MASTERS  
GAMES 2021

ワールドマスターズゲームズの開催地と開催規模

開催年	開催回	開催国	開催都市	参加者数(人)	参加国数(国)
1985年	第1回	カナダ	トロント	8,300	61
1989年	第2回	デンマーク	ヘアニング、オールボー、オーフス(3都市開催)	5,500	76
1994年	第3回	オーストラリア	ブリスベン	24,000	71
1998年	第4回	アメリカ	ポートランド	11,000	101
2002年	第5回	オーストラリア	メルボルン	25,000	97
2005年	第6回	カナダ	エドモントン	22,000	89
2009年	第7回	オーストラリア	シドニー	29,000	95
2013年	第8回	イタリア	トリノ	19,000	107
2017年	第9回	ニュージーランド	オークランド	25,000(目標)	100(目標)
2021年	第10回	日本	関西	50,000(目標)	150(目標)

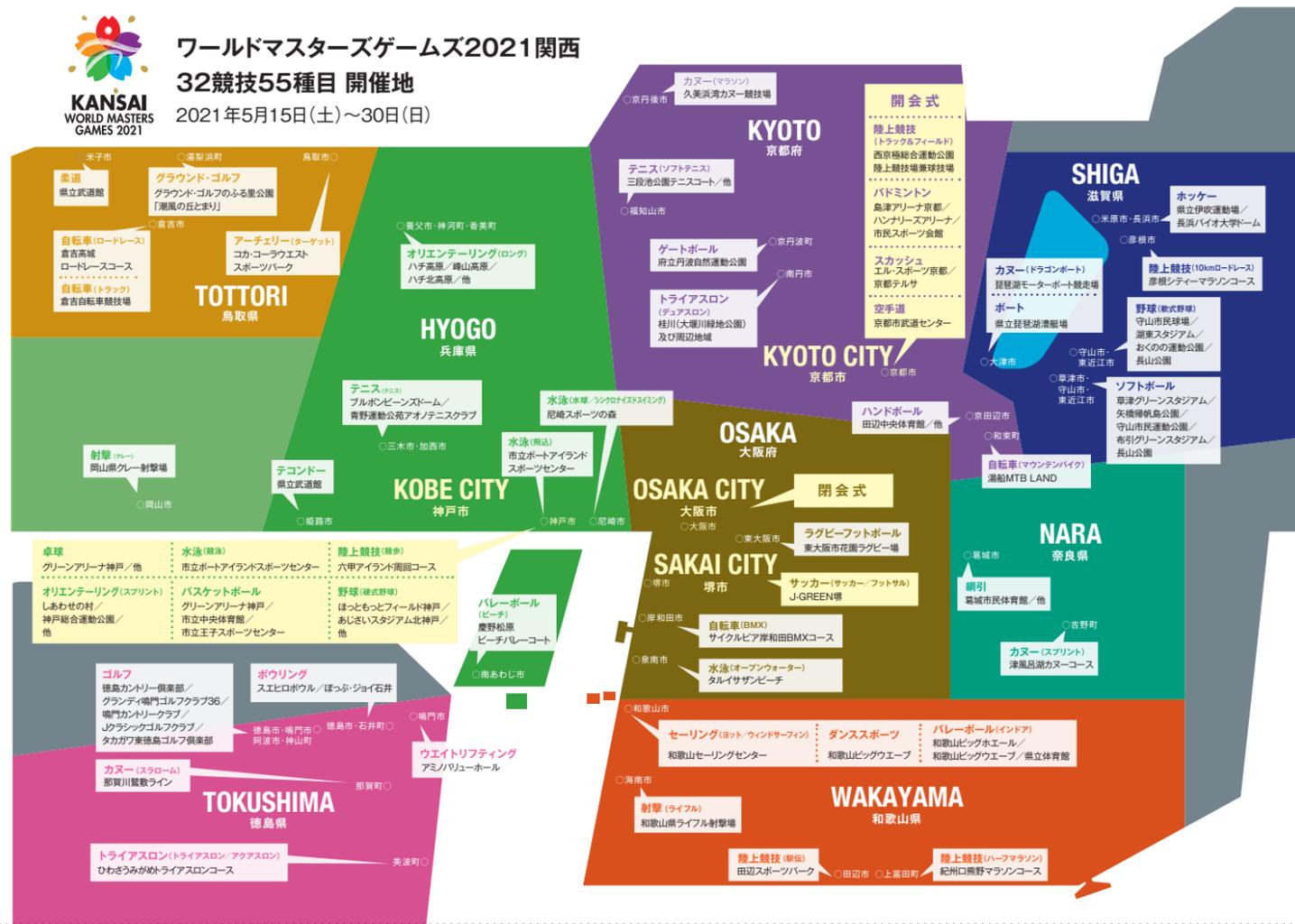
**エイジングの楽しみ**  
13年の第8回トリノ大会までの参加人数は、延べ14万人以上。欧米からの参加が多く、観光旅行を兼ねて毎回参加する人、家族と一緒に長期滞在する人も珍しくない。競技は男女・年代別に行われることから、参加者の中には年を重ねることを楽しみにしている人も多いという。今の記録を維持すれば、次回は一つ上の年代枠で参加し、メダル獲得の可能性もある。



兼ねて毎回参加する人、家族と一緒に長期滞在する人も珍しくない。競技は男女・年代別に行われることから、参加者の中には年を重ねることを楽しみにしている人も多いという。今の記録を維持すれば、次回は一つ上の年代枠で参加し、メダル獲得の可能性もある。



ワールドマスターズゲームズ2021関西  
32競技55種目 開催地  
2021年5月15日(土)～30日(日)



大きなインバウンド効果

関西がW M G の誘致を決めたのは13年。関西広域連合を中心に、関西経済連合会など経済界も加わり、同年9月に官民合同の準備委員会を設置。I M G A の査察などを経て、11月に開催が決定した。翌14年12月、準備委員会を発展的に解消し、新たに「一般財団法人関西ワールドマスターズゲームズ2021組織委員会」(会長 井戸敏三・関西広域連合長 森 詳介・関西経済連合会会長) を設立。官民一丸となって開催準備に取り組む姿勢を内外に示した。誘致の背景には、経済効果への期待もある。16日間の会期中、世界

150カ国・地域から約5万人(国内3万人・国外2万人)の選手の参加をめぐっている。これまでの平均滞在日数は国外参加選手15・8日、国内参加選手9・4日にも及ぶだけに、大きなインバウンド効果が見込める。スポーツツーリズムも含めた広域観光戦略とも連動させることで、観光消費の活発化が期待できる。総事業費約28億円で、経済波及効果は約140億円にも上ると見られている(スポーツコミッション関西試算)。

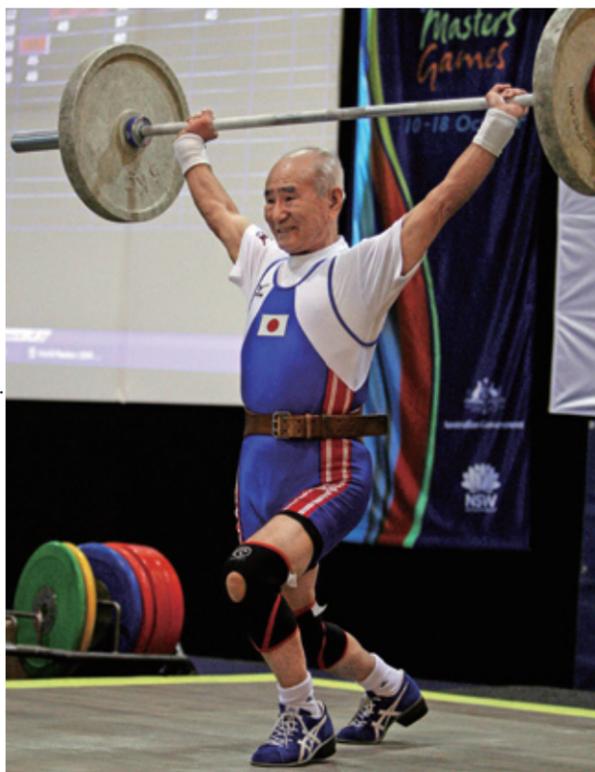
また関西にはアシックス、ミス



ノ、デサントなどスポーツメーカーが多く、ナイキのアメリカ・オレゴン、アディダス、プーマのドイツ・ヘルツォゲンアウラッハと並ぶ世界3大スポーツ産業集積地。W M G 開催を機に、これら「健康医療産業」が活性化し、スポーツ振興の機運も高まり、関西が「生涯スポーツのメッカ」になれば――。そんな夢や希望も。

広域関西の魅力発信

16年10月、関西大会の実施種目と各競技の開催地が決定した。種目は陸上、水泳、野球、テニスと



した個性豊かな地域の集合体。新たに競技場(ハード)をつくることはせず、運営は会場である街ぐるみでの「ソフト」のおもてなしを重視。開催地個々の魅力を生かしつつ、エリア全体の盛り上がりや醸成できれば、地方創生のモデルになり得る。

スポーツイベントのレガシーを

とはいえ、一般の人に向けた認知度向上はこれから。その一環として、まずは17年4月のニュージーランド・オークランド大会に視察団・P R 団を派遣。W M G はリピーターが多いため、ブースを設け、出場選手たちに次の開催地・関西をアピールしていくという。もう一つ、関西大会で試みようとしているのが、障がいの有無にかかわらず同じ競技に一緒に参加

これまでのW M G は、第2回デンマーク大会(3都市開催)を除き、すべて単独都市開催。これほど多くの都市が舞台となる広域開催は例がない。宿泊先の確保など課題もあるが、関西は多様な歴史や自然、伝統産業や食文化に恵ま